ていねいな「樹の子育て」から生まれる HAYASHIDAの杉苗。

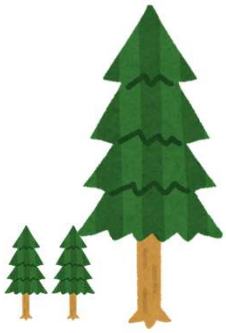
杉苗は「芯」が命。
採穂から出荷までに最低５回のチェック

弊社では芯を大事にする育苗を行っています。
「芯」の通っている苗は植栽後にまっすぐに育ち、将来の材積に良い影響を与えます。
品質を確保するため、採穂・穂作り・挿し木・移植・出荷の各工程で、複数人によるチェック体制を取っています。

自社母樹園から育てた、九州に最適な苗木。
すべて花粉の少ない苗木で品種も明確。

平成２９年に認定特定増殖事業者に認定され、自社母樹園を構え、児湯２号、姶良２０号、高岡署１号、西臼杵４号等を育苗しています。
宮崎の気候にあった品種を独自に選定し、育苗しています。

２段階育苗と緩効性肥料で
初期成長を応援



一般的に発根期は肥料の養分で弱ってしまうため、肥料の使用は控えます。その後、育苗期に十分に発根した苗をMスターコンテナへ移植する際に弊社では**「２年効く緩効性肥料」を培地に混ぜ込んでいます。**
これにより、苗木は定植後も長期間にわたり必要な栄養をじっくり吸収でき、**山への植栽後の活着や初期成長を力強くサポート**します。

ねがらみを防ぐ根茎

Mスターコンテナを使った育苗を行っており、縦に根がはるため、植栽後に根茎同士がからむことによって枯れるリスクを低減します。

出荷時にラッピング。乾燥から苗を守ります。

出荷時に10本ごとにラッピングを行います。現場で仮植も必要なく、立てて保管することもでき、乾燥による枯れを防ぎます。
ラップは燃やしてもダイオキシンがでない素材を使用しております。

令和7年度　農林水産大臣賞受賞。

先代は「天皇杯」を、現社長は、本年「農林水産大臣賞」を受賞。
おかげさまで、代々にわたり取り組みや品質に評価をいただいております。

常に研究をしているから、
毎年少しずつ何かが良くなっている？

毎年起きる異常気象。年々長くなる猛暑日。
現状維持では、杉苗を生産し続けることが難しいと感じる環境で、常にあらゆる角度から研究を行うことで変化に適応できるよう努力しています。

株式会社林田樹苗農園